

き、それを待つ楽しみを知っていくことだろう。  
そう思えば思うほど、心の柔らかな幼い時代こそ、はりきって次のステップに移る練習ばかりさせ

ず、その時期にしか味わえない新しい発見やものの出会いを大切にしてやりたいと思う。

(静岡大学教育学部附属幼稚園)

## 心理療法における時間

安島 智子



心理療法における時間について述べるに際し、まず「遅れ」を伴った男児の事例を取り上げることがから始めようと思う。

### 〈事例〉

五歳の男の子である。一歳半健診の時に自閉傾向

と言われて二歳二か月から、地域の機関に通っていた。最近その機関の医者に「来年は小学校入学だけれど、特殊学級が適当でしょう。将来は施設に行くようになることを覚悟して下さい」と言われたという。自閉傾向を伴った発達遅滞ということだ。ほかに治療機関はないかと探したところ、「このはな

児童学研究所の心理相談室を紹介されて来談された。

初回の様子は、コミュニケーションを目的としな  
い言葉を繰り返して、多動でじっとしていることがで  
きない。トイレの水を流すことと、流し台に水を溜  
めていくのだが、あと一歩で溢れるというその瞬間  
にあわてて栓を抜くことを繰り返す。水が「出て来  
る」、水が「溜まる」、水が「出て行く」という事象  
に特別の関心を抱き、トイレと台所を往復する。そ  
の間には換気扇に興味を示したり、どこへ行こうと  
しているのか定まらない動き回り方をし、何かをし  
て遊ぶというようなことはまったく見られなかつ  
た。

彼は遊ぶことができない子だったのである。しか  
し、彼がトイレや台所の水を流すのを遊びと思っ  
てしまう人もいる。なぜなら、この子は水を流す時は  
実に、ニコニコしているのであるから。（このニコ  
ニコは、水の恐怖に対し否認という最も原始的防衛

機制を用いていたものと思われる。）幼稚園では、  
ほとんどトイレにいたので、先生はトイレの水を流  
すのが好きだと思っておられた。しかし、実は彼は  
水が物凄く恐ろしかったので、水から離れる事がで  
きず、強迫的に水を流し続けていたのである。じょ  
じょに水へのこだわりが薄れ、おもちゃを使って遊  
べるようになっていった。それにつれ、用を足すと  
トイレの水は「安島先生流して」と言いに来て、自  
分は両手を耳に当てて水の流れる音が聞こえないよ  
うにし、遠く離れている。自分に起きている水への  
恐怖を感じることができるようになったからであ  
る。

この子とつきあって一年がたとうとしている。秋  
の運動会には初めて皆と一緒に参加することができ  
たし、幼稚園の生活が楽しくてしょうがない。この  
一年を振り返ってみると、言葉を使えなかった子  
が、鸚鵡返しをするようになり、さらにコミュニケ  
ーションを目的とする対話ができるようになった。

箱庭の中でお部屋を作り、お父さんや、お母さんやお客さんと一緒にケーキを食べたり、ピアノの前で一人一人を歌わせたり、最近本人が水ぼうそうにかかったが、お父さんを水ぼうそうにさせたり、楽しい物語をつくっている。もちろん本人の内的世界が豊かに遊べるということは、ブレールームの遊びも同じように豊かになっているし、実際の生活においても同様である。彼は創造性の働く遊べる子になった。

この事例は心理療法を受けることにより、明らかに発達の遅れという事柄が解決してきている。一年という時間にもかかわらず、何年間にも渡っておきる成長過程の出来事を通してしているのである。この事実を我々ほどの様に考えたらよいのであろうか。心理療法における時間について語ってみよう。

心理療法の場は異なる二つの時間からなっている。一方は現実時間と言おうか、実際の日常生活の

時間である。心理療法はこの時間が「枠」となることによって、もう一つの時間を生きる事をいっそう可能にしてくれる。この事例の子どももその曜日のその時間を特別の時間として、楽しみにしているのだ。

これを敢えてここで「自我」関与的時間と「自己」関与的時間と言ってみるが、自我の強さと自己の豊かさは相即的なものと筆者は考えていることを前提に再び事例について述べたいと思う。

発達の遅れと言う場合、一般的には自我の未成熟とは考えられても、自己における未解決とは考えられにくいであろう。しかし自己における傷付きや自己破壊的な世界が自我の成長を止めているケースは大変に多い。この事例も心理療法によって自己破壊的世界が解決し、癒しがもたらされ、自己の創造性が回復していった。それはまた自我の成長をも助けることとなったのである。治療実感からするとこの子の恐怖とその恐怖をもたらした事柄が、「自己」

時間においては「今」に共時しているのである。そしてこれは、ベルグソンの言う「持続」の時間に当たると考えると、実に心理療法の秘密のからくりを説明しやすくする。この事例は「持続」の時間に子どもと共に身をおいた治療者がこの子の水に溺れそ

## ダイヤの話

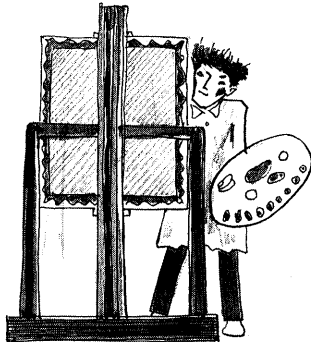
辻村 和人

### 時間に正確な日本の鉄道

外国鉄道に勤務する人達が日本の鉄道見学に来ることがある。その際、よく出る質問に次のようなも

うで今にも息が止まりそうな心的恐怖を体験した。こうして「持続」の時間を共に生きる事ができ、そこに二人の命の必然的な流れがおき、「継起」に当たる流れの節が展開していったと言えよう。

(このはな児童学研究所)



のがある。「日本の鉄道は、こんなに多くの列車を運転しているのに何故正確に運行できるのか」と。確かにデータをみると、外国の鉄道は日本の鉄道